

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
青森研究開発センターに係る立入調査票

(No. 1 7 4)

調査年月日	平成30年2月19日			
調査員等	青森県 危機管理局 原子力安全対策課 青森県 原子力センター 安全監視課 東通村駐在 むつ市 総務部 防災安全課 青森県漁業協同組合連合会 指導部 指導課	主 幹 鋤柄 光二 技 師 松倉 祐介 総括主幹 工藤 俊明 課 長 佐藤 孝悦 主 事 吉田 隆行 木村 公耶		
項 目	調 査 結 果			
放射 性 廃 棄 物 の 保 管 状 況	保管場所	放射性固体廃棄物	保管の状況	
	燃料 ・ 廃 棄 物 取 扱 棟	200L鋼製ドラム缶	505本*	異常なし。
		200L SUSドラム缶	3本	
		1 m ³ 鋼製容器	32個*	
3 m ³ 鋼製容器		3個		
使用済樹脂収納容器		2本		
撤去物等保管棟	200L鋼製ドラム缶	148本	異常なし。	
	1 m ³ 鋼製容器	41個		
原子炉室保管棟	原子炉室一括撤去物	1個	異常なし。	
備 考	<p>※ 前回(8/8)の立入調査時より、200L鋼製ドラム缶は3本増加し、1m³鋼製容器は2個減少した。その内訳は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年5月16日に確認された300L SUSドラム缶からの液体の漏えいにかかる予防処置の一環として、1m³鋼製容器(2個)内の200L鋼製ドラム缶(2本)を取り出し、その内容物を別の200L鋼製ドラム缶に詰め替えたため、1m³鋼製容器が2個減り、200L鋼製ドラム缶が2本増えた。 定期検査等の作業により生じた綿手袋等の廃棄物により、200L鋼製ドラム缶が1本増えた。 			